

Bulletin

交通 ● ブリテン

ISSN 1349-9610

2025年
夏期号

68

DEPARTMENT OF TRANSPORTATION SYSTEMS ENGINEERING • COLLEGE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY • NIHON UNIVERSITY

特集

「交通システム工学科 現役大学生のリアルな1日！」

Contents

- 2 「交通システム工学科 現役大学生のリアルな1日！」
- 3 1年
- 4 2年
- 5 3年
- 6 4年
- 7 大学院
- 8 交通システム工学科のキャンパスライフ
- 10 授業紹介「空間情報工学」
- 11 教室の動き
- 12 編集後記

表紙写真は、交通システム工学科写真コンテストの写真です。
撮影者：芳賀璃紗さん

[特集] 交通システム工学科

現役大学生のリアルな1日!

大学生って、どんな毎日を過ごしているの？
勉強やレポートばかり？
アルバイトやサークル活動をする時間があるの？
そんな疑問を持つ高校生の皆さんに向けて、本学科に所属する現役大学生のリアルなキャンパスライフを紹介します。講義や研究に取り組む姿はもちろん、友達との交流、サークル活動、アルバイトなど、学業とプライベートをうまく両立しながら、充実した日々を送る学生たちの様子取材しました。それぞれの学生がどのように時間を使い、どんなことに頑張っているのかを知ることで、大学生活のイメージがグッと身近になるはず。大学での生活は、自分の興味や専門性を深め、将来への第一歩を踏み出す大切な時間です。この特集を通して、大学での学びやキャンパスライフに少しでも期待を膨らませてもらえることを願っています。

ここに登場している学生へのインタビュー動画、授業や研究などの紹介を交通システム工学科 Instagram にアップしています。ぜひチェックしてください!



Follow me!



篠原 煌貴さん

入学後のオリエンテーションで友達ができ、大学生活になじめました

1日のスケジュール

7:00	起床
8:00	通学
9:00	1・2限:交通システム工学インセンティブ
12:10	昼休み
13:20	3限:一般教養(日本国憲法)
15:00	図書館で課題と復習
18:00	自宅近くの塾でアルバイト
21:00	帰宅後、夕食
22:00	課題と復習
1:00	就寝



船橋日大前駅を降りたら、すぐそこがキャンパス!

1年

高校とは違い、専門的・実践的な授業が多くて楽しい!

1日のスケジュール

6:00	起床
8:00	通学
9:00	1・2限:製図デザイン基礎 I
12:10	昼休み
13:20	3限:微分積分学 I
15:00	4限:数学演習 I
16:40	5限:英語 I A
19:00	帰宅
20:00	夕食
21:00	課題と復習
23:00	就寝

製図の授業では、作図の基本やCADソフトの使い方を学びます



藤井 結菜さん

小久保 晴太さん

1日のスケジュール

7:00	起床
8:00	通学
9:00	1限:交通流理論
10:40	2限:交通システム計画
12:10	昼休み
13:00	部活まで図書館で課題と復習
16:00	準硬式野球部の練習
20:00	部活仲間と夕食
22:00	帰宅
23:00	就寝

理工学部の準硬式野球部に所属しています



大学では
クラブ活動も
全力で楽しんで
います!



町田 博信さん

1日のスケジュール

7:00	起床
8:00	通学
9:00	図書館で今日の授業の予習
10:40	2限:構造力学II
12:10	昼休み
13:20	3限:ゼミナール
15:00	4限:交通システム工学総合演習
17:00	交通まちづくり工房の活動
20:00	帰宅後、夕食
21:00	課題と復習
0:00	就寝

授業後も工房の仲間と進行中のプロジェクトについて議論しています



交通まちづくり
工房の活動を
頑張っ
ています!



2年

女子は少数でも
みんな仲良しだから
気にならない!

学食は3つあり、全部安くてお腹いっぱいになります



1日のスケジュール

6:00	起床
8:00	通学
9:00	1限:プログラミング
10:40	2限:English Communication I
12:10	昼休み
13:20	3限:英語III A
15:00	大学構内のカフェで課題と復習
17:00	ダンスサークルの練習
20:00	サークルのメンバーと夕食
22:00	帰宅
0:00	就寝

井垣 碧悠さん

1日のスケジュール

7:00	起床
9:00	通学
10:40	2限:英語特殊講義 A
12:10	昼休み
13:20	3限:交通環境解析
15:00	4限:交通需要予測
17:00	担任の先生に進路の相談
18:00	キャリア支援センターで就活の情報収集
19:00	帰宅後、夕食
20:00	課題と復習
0:00	就寝

学部や学科には充実した就活サポートがあるので安心です



3年生のこれからが
就職活動の本番です!

大内 香凜さん

3年



正木 凜さん

1日のスケジュール

6:00	起床
7:00	通学
10:00	研究資料整理
11:00	指導教員と研究の打ち合わせ
12:00	昼食
13:00	研究のデータ分析に必要な測量調査
16:00	実験データの整理
19:00	アルバイト
22:00	帰宅
0:00	就寝

航空写真から3次元建物モデルを自動で作成する研究を行っています



学内にはさまざまな研究施設がそろっています!



4年



渋滞に関する研究をしています。研究って楽しい!

研究のために交通状況を調査してデータを取っています



1日のスケジュール

8:00	起床
9:00	通学
10:00	研究室で論文整理
11:00	昼食
12:00	高速道路の渋滞に関する調査のための準備
15:00	研究資料整理
19:00	研究室の仲間と夕食
21:00	帰宅
0:00	就寝

番 洸一朗さん

管 健太郎さん

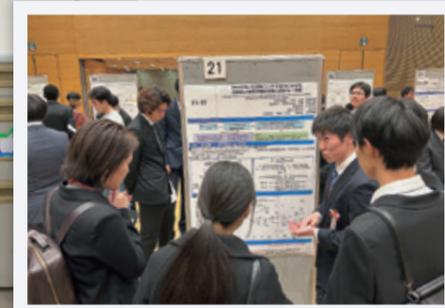
博士前期課程 1年

1日のスケジュール

7:00	起床
8:00	通学
9:00	1限:Academic Writing and Presentation for Engineers I
10:40	2限:エンジニアリングセンシング技術特論
12:10	昼休み
13:20	3限:エンジニアリング基礎特論
16:00	研究室で論文執筆
18:00	指導教員と研究打ち合わせ
19:00	学食で夕食
20:00	研究室で論文執筆
23:00	帰宅
1:00	就寝

大学院では発表の機会が多くなります

国際学会への論文投稿にチャレンジしています!



地盤に関する研究をしています!

1日のスケジュール

6:00	起床
7:00	通学
8:00	実験の準備
10:00	ブロック舗装に用いるAs系砂の工学的特性の実験
13:00	昼食
14:00	実験結果の整理
16:00	図書館で調べもの
18:00	指導教員と研究打ち合わせ
20:00	帰宅後、夕食
21:00	修士論文執筆
0:00	就寝

複雑な実験装置も使いこなせるようになりました



孫 逸航さん

博士前期課程 2年



大学院

交通システム工学科のキャンパスライフ

1年生

1年生の授業では、数学・物理・英語など理系学問の基礎となる科目を中心に学びます。また、「交通総論」や「インセンティブ」など、交通分野の専門科目の土台となる授業もあり、将来の交通技術者としての素養を身につけていきます。大学では時間割を自分で組むため、高校に比べて時間の使い方の自由度が高く、授業以外にサークル活動やアルバイトをする学生も多く見られます。一方で、理系学生は課題やレポートが多く、1年生のうちから計画的に時間を使い、生活リズムを整えることが重要です。本学科には全国各地から、さらには留学生を含む約120名の学生が集まります。初めは緊張もありますが、授業やグループワークを通じて友人関係が自然に築かれていきます。新入生同士や教員との交流を促すオリエンテーションもあります。

担任



江守 央
教授



佐田 達典
教授



李 勇鶴
准教授

オリエンテーション

大学生活の第一歩をスムーズに踏み出せるよう、毎年、入学後の4～5月の時期に新入生オリエンテーションを実施しています。緊張と不安が残る新入生でも楽しめるように、工夫を凝らした企画が用意されており、同じ学科の仲間と自然に打ち解けることができます。また、教員や先輩学生との交流の場も設けられており、大学生活の不安を解消できます。
※本年度の様子は p.12をご覧ください。



2年生

2年生からは、総合的な交通技術を学ぶエンジニアリングコースと、交通に関わる経営や国際感覚を身につけるマネジメントコースに分かれ、自分の興味や将来の進路を見据えて、より専門的かつ計画的に授業を選択するようになります。「交通流理論」「交通環境工学」「情報処理」「建設材料」など、計画系、環境・情報系、基盤系という交通に関わる幅広い分野の専門的な授業から、交通分野に関する専門知識を深めていきます。また、「測量実習」のように、グループワークによる実践的な授業もあります。2年生になると友人関係も深まっており、授業後に学生同士で課題やレポートに取り組む姿が多く見られます。また授業外の活動として、学科の有志の学生で構成される「交通まちづくり工房」に所属して活動する学生もいます。

担任



石坂 哲宏
教授



青山 恵里
助教



末次 優花
助手

未来博士工房 「交通まちづくり工房」

主に1～3年生の学生が主体となって、交通・まちづくりに関わる課題の解決に向けて地域と一緒に取り組み、その成果を社会還元する取り組みです。授業で知識や技術を習得するだけでなく、実践することで技術者としての能力向上を目指します。現在は「交通安全」「地域活性化」「国際まちづくり」「コンクリートカヌー」「鋼橋」の5つのプロジェクトが活動しています。



3年生

3年生は、交通技術者としての実践的な力を養う授業が増えていきます。例えば「交通現象解析」や「プロジェクト演習」の授業では、グループで協力しながら現場で調査を行い、交通現象を分析し、地域の交通課題の解決に取り組めます。また実験系科目もあり、課題やレポートの量が増えるため、効率的な時間管理が一層重要になります。さらに、3年生は就職活動を本格的に始める時期でもあります。「キャリアデザイン」の授業では、交通関連業界で活躍する卒業生(OB・OG)による講演が行われ、業界の実情や仕事内容について理解を深めることができます。自分の将来像を具体的に描き始める大切な1年となります。

担任



伊東 英幸
教授



齋藤 準平
准教授



菊池 浩紀
助教

キャリアアップ応援ミーティング

主に3年生を対象に、毎年11月頃に開催している学科独自のキャリアイベントで、約80社の企業から学科の卒業生(OB・OG)が参加し、業務内容の説明や学生からの質問や相談に応じます。学生にとっては実際に働く先輩とじっくり話ができる貴重な機会であり、自分の将来の方向性を探るきっかけとなっています。



4年生

4年生になると研究室に所属し、卒業研究に取り組む時間が大学生活の中心となります。卒業研究では、学生自身が研究テーマを設定し、週1回程度の指導教員とのミーティングを重ねながら研究を進めます。これまでの授業で蓄積した知識を結集し、自分で調査や実験を計画し、得られたデータを整理・解析し、その成果を卒業論文としてまとめていきます。そして2月には4年間の学びの集大成として卒業研究発表会が行われ、研究成果を他の学生や教員の前で発表します。多くの学生が前期のうちに内定を得て就職先を決定しますが、最近では、自分の専門性をさらに高めるために大学院への進学を選ぶ学生も増えています。

担任



谷口 望
教授



山中 光一
准教授



吉岡 慶祐
准教授

学術講演会

理工学部全学科の研究活動の成果を発表する場として毎年開催されているもので、本学科では多くの4年生が卒業研究の内容を発表しています。4年生にとって初めての研究発表会ですが、自らの研究を整理し、他者に伝える経験は、技術者としての第一歩を踏み出す貴重な経験となります。



大学院生

大学院では研究中心の日々となり、多くの時間を研究室で過ごします。専門書や論文を読んで知識を深めたり、実験装置を使って実験に取り組んだり、シミュレーションや計算のためにプログラムコードを書いたり、学部時代よりも研究は高度になります。研究が進むと論文を執筆して学会で発表します。国際学会で英語によるプレゼンテーションを経験する学生もいます。また、企業との共同研究に関わることもあり、社会との接点も広がります。理工系の大学院生活は、挑戦と成長の連続です。自分の未来の可能性を広げるかけがえのない時間となるでしょう。

担任



小早川 悟
教授

学科スポーツ大会

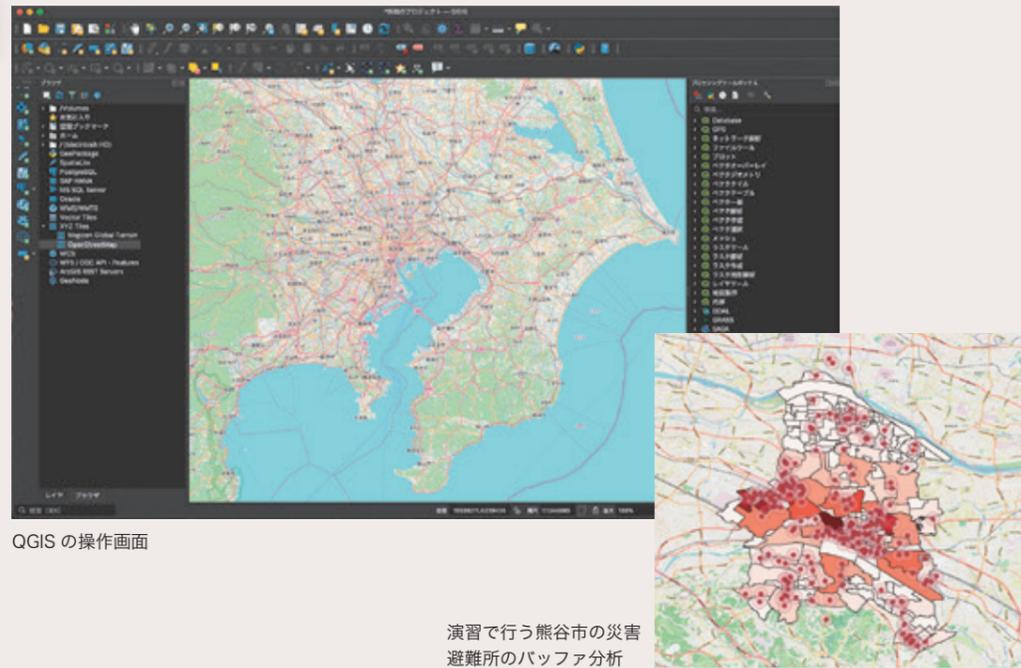
学年や学生・教員の垣根を越えて学科全体での交流を深めることを目的に、毎年開催しています。種目はソフトボール・卓球などの競技に加えてeスポーツなど多彩で、運動の得意・不得意に関わらず全員が楽しめます。講義や研究に励む日々の中で、リフレッシュしながら仲間との絆を深められます。



1. 授業における GIS の位置付け

さまざまな科目でツールとして活用されつつある GIS (Geographic Information System) について、近年、2 年次必修科目の「空間情報工学」では、授業内容の比率を上げています。まずは触れることで身近に捉えること、そして学生の今後の勉学や研究に活かせること、さら

には社会人として業務にあたる場面などにも活かせるツールとしての確立を展望しています。授業では、他の科目との連携を図るため GIS ソフトウェアとして「QGIS」を使用して、以下のような基本的な操作を行っています。



QGIS の操作画面

演習で行う熊谷市の災害避難所のバッファ分析

2. 地図じゃん！

そう！ 地図です！ ですが、その地図上にさまざまな情報を階層ごとに重ねて解析を行えることを知ってもらいたいという狙いです。また近年では、地図をはじめとするさまざまな種類のデータにおいて、誰もが一般利用できるオープンデータ化が進められており、ひと昔前に比べて各種のデータが入手しやすい時代となりました。授業のなかでも、G空間情報センター

から地図をダウンロードして使用することや、e-Stat から統計データをダウンロードして活用することを行っています。また、国土交通省が進める日本全国の都市デジタルツイン実現プロジェクト「PLATEAU (プラトー) <https://www.mlit.go.jp/plateau/>」に代表されるように、ベースとなる地図自体も 3 次元化するようになってきています。

3. 難しく捉えてほしくない！

「GIS で分析」というと、少し難しいように感じるかもしれません。しかし日常的に、スマートフォンのマップで経路を検索したり、食べたいお店の情報を入手したりしていると思います。このように、情報のユーザー側としてはすでに関わりのあるものなのです。必ずしも交通

技術者や建設技術者のような専門的な人だけが取り扱うものではありません。こうしたデータを日常的に使用することを心がけることで、卒業論文や修士論文に幅広く活用されることを期待します。

准教授 李 勇鶴
教授 佐田 達典
教授 江守 央

教室の動き

今年度の主な教室の教育関連行事の概要を報告します。

オープンキャンパス関連イベントのご案内

山中光一 (広報担当)

高校生をはじめとした皆さまが進路を選択する上で、オープンキャンパスは重要なイベントのひとつだと思います。日本大学理工学部では、大学の魅力をお伝えするために下記の日程でオープンキャンパス関連イベントを開催します。事前予約制となりますが、ぜひご参加いただき、日本大学理工学部の魅力を知っていただければと思います！！

6/15 (日) : オープンキャンパス駿河台 (4/28申し込み開始)

駿河台キャンパスのタワー・スコラで開催されます。学科の活動内容に関する展示や体験・学科紹介・ミニ講義のほか、在学生とお話しする機会があります。ぜひご参加ください！！

8/2 (土) 3 (日) : オープンキャンパス船橋 (7/1申し込み開始)

2 日間にわたり、船橋キャンパスで開催される、理工学部で一番大きなイベントです。4 名の教員によるミニ講義や体験型の学科紹介に加え、多くの在学生が協力して学科を紹介します。オープンキャンパス駿河台と併せて参加し、ぜひ学科の魅力を知っていただければと思います！！

11/2 (日) : 船橋キャンパスウォッチング (10/1申し込み開始)

船橋キャンパスで開催される、一般参加者を含めた施設紹介イベントです。当日は、理工学部の学部祭である「桜理祭」も同時開催していますので、ぜひご参加ください！！

随時開催 : CST VR EXHIBITION HALL

VR 空間に理工学部各学科の紹介ブースを構築した「バーチャルオープンキャンパス」は登録不要、操作は簡単いつでも学科紹介を見ることができます。ミニ講義や学科紹介もありますので、ぜひご覧ください。



ほかに、学科の Instagram でも授業や研究等の紹介を行っています。こちらもぜひご覧ください。

福田敦教授の最終講義が開催されました

菊池浩紀

2025 年 3 月 29 日 (土) に駿河台キャンパスのタワー・スコラにて、福田敦教授の最終講義が開催されました。研究室の卒業生、教員、研究や社会活動での関係者など約 180 名の方



が集まり、福田教授の定年退職をお祝いしました。最終講義では、福田教授の専門である交通システム計画や国際開発を中心にお話しされ、これまでの経歴や国内外での研究・教育・社会活動など数多の実績を振り返ることができました。福田教授は特に、開発途上国における交通問題解決に多大な貢献をされてきました。また、37 年に亘り本学科の教育・研究活動においてもご尽力されました。本年度からは、特任教授として引き続き講義や研究指導に携わっていただいております。

退任教員の紹介

伊東英幸 (教室幹事)

飯田樹先生は、本年 3 月をもって退職されました。飯田先生は、2024 年 4 月に本学科に着任され、鉄道構造研究室の助手を務められました。舗装材料実験、交通システムプロジェクト演習、測量実習、鋼・コンクリート実験などの授業補助を担当され、本学科の研究・教育活動にご尽力されました。これまでの本学科での教育・研究活動へのご尽力に心から感謝申し上げます。



福田敦教授は、本年 3 月をもって定年退職されました。福田先生は日本大学大学院理工学研究科交通土木工学専攻を卒業後、1988 年 4 月に本学科 (当時、交通土木工学科) に助手として着任された後、国際協力事業団長期専門家派遣としてアジア工科大学に助教として着任され、その後、本学科にて専



任講師、助教授を経て2005年より教授を務められました。交通システム計画、交通需要予測、交通安全、国際開発援助論、交通経済学、システム工学、交通環境工学、交通環境解析などの講義や卒業研究・修士論文・博士論文の指導など、本学科において教育・研究活動などにご尽力されました。これまでの本学科での多年に亘る教育・研究活動へのご尽力に心から感謝申し上げます。

1年生のオリエンテーション開催報告

江守 央、佐田達典、李 勇鶴

2025年4月26日（土）、交通システム工学科の新入生を対象としたオリエンテーションを実施しました。本年度は「キャンパス整備の提案」をテーマとした体験型プログラムを企画し、南北メインストリートおよびその周辺を対象に、現地調査と地図作製に取り組みました。新入生は12の班に分か

れ、午前中は教員や大学院生の指導のもと、それぞれの担当エリアにて寸法の計測や写真撮影、スケッチを行い、現地状況を記録しました。午後は製図室にて地図作製に取り組み、どの班も創意工夫を凝らした成果を完成させました。その後、ファラデーホールにて成果発表会を開催し、各班の代表者が地図作製の工夫や整備提案について熱意をもって発表しました。発表はいずれも高い完成度で、とくに優れた3つの班が表彰されました。発表会後には懇親会が開かれ、新入生、大学院生、教職員が交流を深める有意義な時間となりました。

また、オリエンテーション期間中にはAirX社による空飛ぶクルマの実機展示と試乗体験、フィールドテック社による地上型レーザースキャナーを用いた点群計測のデモンストレーションも行われ、多くの学生が興味を持って参加していました。

このオリエンテーションは、新入生にとって教職員、先輩や仲間とのつながりを築き、今後の学びに向けた意欲を高める貴重な機会となりました。



現地調査の様子



点群計測の様子



グループで昼食をとっている様子



空飛ぶクルマの展示



成果発表会の様子



懇親会の様子

編集後記

ブリテン68号の特集企画では、学科に所属する1年生から大学院生まで計10名の学生に取材を行い、学生生活のリアルな姿をお届けしました。写真撮影では、慣れないカメラを前に最初は少し緊張した様子も見られましたが、次第にリラックスしてさわやかな笑顔や生き生きとした表情を見せてくれました。インタビューでは、日頃の授業や研究活動、サークルでの活動などについて語っていただき、学生生活の充実ぶりがよく伝わってきました。誌面だけでは伝えきれない学生の魅力も多くありますので、ぜひオープンキャンパスなどで直接会い、話を聞いてみてください。それが、本学科を志すきっかけのひとつになれば幸いです。最後になりますが、本特集にご協力いただいた学生の皆さんをはじめ、制作に関わってくださったすべての方々へ心より感謝申し上げます。ありがとうございました。（吉岡）

この企画を通じて、学生たちが学業と両立しながら、部活やサークル、アルバイトに打ち込んでいる様子を知ることができました。掲載した「スケジュール」はある特定の学生の1日の例ですが、多様な学生がそれぞれ異なる過ごし方をしています。船橋キャンパスは自然豊かで、休み時には木陰でリラックスしたり、広場でキャッチボールなどを楽しんでいる学生もいます。キャンパスの近くには美味しい食事が楽しめる飲食店や、おしゃれなカフェ、パン屋さんもあるので、大学近くでお気に入りの場所を見つける学生も多く、また都心へのアクセスも良好なので、講義後や休日には都内へ出かける学生もいます。学科のInstagramやオープンキャンパスを通じて、さまざまな学生生活の様子を垣間見ることができますので、ぜひチェックしてみてください！（青山）

交通ブリテン • 2025年 夏期号 No.68

発行日：令和7年6月12日 発行：日本大学理工学部交通システム工学科教室 ☎047-469-5239（教室事務）
発行責任者：峯岸邦夫（教室主任） 編集担当：吉岡慶祐・青山恵里 制作：(株)ムーンドッグ